

# おぢや

# 市議会だより



NO. 94

令和1.10.25

編集発行  
小千谷市議会  
☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



## 小千谷スーパーソニックス (小千谷バスケットボール少年団)

現在約40人の小中学生のメンバーで活動しています。

ミニバスでは昨年・一昨年と県大会で優勝し、東北大会や全国大会に出場することが出来ました。バスケットが大好きで上手になりたいと一生懸命、練習に励んでいる団員たちです。

最近はリーグやワールドカップでプロ選手や日本代表選手のプレーを目にする機会が多くなり、日本でもバスケット人気が高まっています。憧れや目標に向かってますますバスケットを楽しんでほしいです。団員募集中です。バスケットをやりたい子どもたち、待っています！

- 第3回定例会議決結果 ..... P2~3
- 常任委員会報告 ..... P4~5
- 一般質問 ..... P6~9
- 議会日誌 ..... P10
- 雪あかり・編集後記 ..... P10

—主な掲載内容—

## 第 3 回 定 例 会 議 決 結 果 (9月2日から9月25日まで開催)

議案番号等		議 件 名	議決状況	議決結果
予 算	議案第79号	令和元年度小千谷市一般会計補正予算(第2号)	全会一致	原案可決
	議案第80号	令和元年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
	議案第81号	令和元年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第2号)	〃	〃
	議案第82号	令和元年度小千谷市工業団地事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
決 算	議案第83号	平成30年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定	賛成多数	認 定
	議案第84号	平成30年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	全会一致	〃
	議案第85号	平成30年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	賛成多数	〃
	議案第86号	平成30年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	〃	〃
	議案第87号	平成30年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定	全会一致	〃
	議案第88号	平成30年度小千谷市ガス事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	原案可決 認 定
	議案第89号	平成30年度小千谷市水道事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	〃
	議案第90号	平成30年度小千谷市工業用水道事業会計決算認定	〃	認 定
	議案第91号	平成30年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定	〃	原案可決 認 定
その他	議案第46号	小千谷市印鑑条例の一部改正	〃	原案可決
	議案第47号	小千谷市税条例の一部改正	賛成多数	〃
	議案第48号	小千谷市健康・こどもプラザ条例の制定	全会一致	〃
	議案第49号	小千谷市健康センター条例の廃止	〃	〃
	議案第50号	小千谷市子育て支援センター条例の廃止	〃	〃
	議案第51号	小千谷市立保育園条例の一部改正	〃	〃
	議案第52号	小千谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	〃	〃
	議案第53号	小千谷市行政財産の目的外使用条例の一部改正	賛成多数	〃
	議案第54号	小千谷市手数料条例の一部改正	〃	〃
	議案第55号	小千谷市立学校使用条例の一部改正	〃	〃
	議案第56号	小千谷市立図書館条例の一部改正	〃	〃
	議案第57号	小千谷市勤労青少年ホーム設置条例の一部改正	〃	〃
	議案第58号	小千谷市民会館条例の一部改正	〃	〃
	議案第59号	小千谷市民学習センター条例の一部改正	〃	〃
	議案第60号	小千谷市民の家条例の一部改正	〃	〃
	議案第61号	小千谷市片貝総合センター条例の一部改正	〃	〃
	議案第62号	小千谷市スポーツ広場条例の一部改正	〃	〃
	議案第63号	小千谷市体育館条例の一部改正	〃	〃
	議案第64号	小千谷市総合福祉センター条例の一部改正	〃	〃
	議案第65号	小千谷市老人憩の家条例の一部改正	〃	〃
	議案第66号	小千谷市斎場条例の一部改正	〃	〃
	議案第67号	小千谷市農業管理センター条例の一部改正	〃	〃
	議案第68号	小千谷市堆肥センター条例の一部改正	〃	〃
	議案第69号	おぢやクラインガルテンふれあいの里条例の一部改正	〃	〃
	議案第70号	小千谷市総合産業会館サンプラザ条例の一部改正	〃	〃
議案第71号	小千谷市錦鯉の里条例の一部改正	〃	〃	
議案第72号	小千谷市道路占用料等徴収条例の一部改正	〃	〃	
議案第73号	小千谷市準用河川管理条例の一部改正	〃	〃	
議案第74号	小千谷市法定外公物管理条例の一部改正	〃	〃	
議案第75号	小千谷市都市公園条例の一部改正	〃	〃	

議案番号等	議 件 名	議決状況	議決結果	
その他	議案第76号	小千谷駅前広場条例の一部改正	賛成多数	原案可決
	議案第77号	小千谷市克雪管理センター条例の一部改正	〃	〃
	議案第78号	小千谷市職員の給与に関する条例等の一部改正	全会一致	〃
	議案第92号	財産の処分〔鴻巣産業団地分譲地〕	〃	〃
	議案第93号	小千谷市道路線の認定	〃	〃
	議案第94号	小千谷市固定資産評価審査委員会委員の選任〔風間隆司氏〕	〃	〃
発議	発議案第3号	学費の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書	〃	〃
請願	請願第3号	「学費の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する請願	みなし	採 択

※議決状況の「みなし」は、その請願に対応した同趣旨の意見書の発議案が提出され、先に採決したので、その議決結果をもって採択されたものとみなします。

## 議員賛否の状況（採決において賛否が分かれたもの）

議案番号等	議決結果	賛成	反対	阿部守男	平澤智	上村行雄	駒井和彦	大矢弘光	佐藤栄作	森本恵理子	住安康一	内山博志	佐藤隆一	吉崎進	久保田陽一	長谷川有理	田中淳	山賀一雄	本田剛
議案第47号	原案可決	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第53号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第54号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第55号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第56号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第57号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第58号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第59号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第60号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第61号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第62号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第63号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第64号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第65号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第66号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第67号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第68号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第69号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第70号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第71号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第72号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第73号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第74号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第75号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第76号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第77号	〃	11	4	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	—	○	○
議案第83号	認 定	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	—	○	○
議案第85号	〃	13	2	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	—	○	○
議案第86号	〃	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	○

※○は賛成、×は反対、議長（田中淳）は採決に加わりません。

# 常任委員会報告

## 総務文教委員会

本委員会に付託されました議案24件について、21件は総務文教委員会単独で、3件は民生産業委員会との連合審査会で慎重に審査した結果、議案24件全て原案のとおり可決すべきものと決しました。また、請願1件を採択すべきものと決しました。

○議案第46号 小千谷市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、女性が様々な活動の場面で旧姓を使用しやすくなるという観点から、旧氏による印鑑登録を行うことができるようにすること、併せて証明書コンビニ交付サービスの開始に伴う改正です。

○議案第47号 小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、法人市民税の税割の税率を現行の12・1%から8・4%に改めるものです。

○議案第78号 小千谷市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

本案は、地方公務員法及び児

童福祉法が改正され、成年被後見人及び被補佐人が資格・職種・業務等から一律に削られたことにより一部改正をするものです。

○議案第53号 小千谷市行政財産の目的外使用条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第54号 小千谷市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第55号 小千谷市立学校使用条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第56号 小千谷市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第57号 小千谷市勤労青少年ホーム設置条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第58号 小千谷市民会館条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第59号 小千谷市民学習センター条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第60号 小千谷市民の家条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第61号 小千谷市片貝総合センター条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第62号 小千谷市スポー

ツ広場条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第63号 小千谷市体育館条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第66号 小千谷市斎場条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第69号 おぢやクラインガルテンふれあいの里条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第70号 小千谷市総合産業会館サンプラザ条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第71号 小千谷市錦鯉の里条例の一部を改正する条例の制定について

以上の15議案は、消費税率の改正に伴い、手数料及び使用料等を改正するものです。

○議案第79号 令和元年度小千谷市一般会計補正予算(第2号)について

本案は、国庫補助金の対象事業に関連する経費のほか、商業振興及び企業立地促進に係る補助金などについて、歳入歳出それぞれ1億4636万4千円追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ188億5359万8千円とするものです。

○議案第83号 平成30年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について

歳入総額は前年度比2・5%増の176億7329万4886円、歳出総額は前年度比2・2%増の171億4517万5781円で、差し引き5億2811万9105円となり、翌年度へ繰り越すべき財源1億688万円を差し引いた実質収支は、4億2123万9105円の黒字となりました。

○議案第88号 平成30年度小千谷市ガス事業会計の利益の処分及び決算認定について

収益的収支においては、収入の決算額は17億2588万652円、支出の決算額は16億3100万6229円。当年度純利益は8444万8726円となり、前年度繰越欠損金4731万8842円の全額を補てんした後の当年度未処分利益剰余金は3712万9884円となりました。

○議案第89号 平成30年度小千谷市水道事業会計の利益の処分及び決算認定について

収益的収支においては、収入の決算額は8億5460万6388円、支出の決算額は7億4

215万9791円。当年度純利益は8011万2372円となり、前年度繰越利益剰余金及びその他未処分利益剰余金変動額を加えた当年度未処分利益剰余金は、3億3846万6582円となりました。

○議案第90号 平成30年度小千谷市工業用水道事業会計決算認定について

収益的収支においては、収入の決算額は2億2713万612円、支出の決算額は2億2695万8202円。当年度純損失は309万7762円となりましたが、全額前年度繰越利益剰余金で補てんし、当年度未処分利益剰余金は2億988万8238円となりました。

○議案第91号 平成30年度小千谷市下水道事業会計の利益の処分及び決算認定について

収益的収支においては、収入の決算額は17億4909万9250円、支出の決算額は13億2317万3366円。当年度純利益は4億1445万6687円となり、前年度繰越利益剰余金及びその他未処分利益剰余金変動額を加えた当年度未処分利益剰余金は8億2711万2572円となりました。

○請願第3号 「学費の公私間格差是正にむけて、私立高等学校への私学助成の充実を求める意見書」の採択に関する請願について

本請願は、私立高校生への就学支援金制度や学費軽減制度を拡充することを関係機関に意見書として提出を求めるものであり、採決の結果、全員異議なく採択すべきものと決しました。

## 民生産業委員会

本委員会に付託されました議案22件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第48号 小千谷市健康・こどもプラザ条例の制定について

本案は、小千谷市健康・こどもプラザを開設するにあたり、その設置や業務内容などを条例で定めるものです。

○議案第49号 小千谷市健康センター条例を廃止する条例の制定について

○議案第50号 小千谷市子育て支援センター条例を廃止する条例の制定について

以上の2議案は、小千谷市健康・こどもプラザ条例の制定に

伴い、条例を廃止するものです。  
○議案第51号 小千谷市立保育園条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、「新潟県児童福祉施設の整備及び運営に関する基準を定める条例」の改正に伴う改正です。

○議案第52号 小千谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行により、国が示す「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」の一部が改正されたことに伴う改正です。

○議案第64号 小千谷市総合福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第65号 小千谷市老人憩の家条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第67号 小千谷市農業管理センター条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第68号 小千谷市堆肥センター条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第72号 小千谷市道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第73号 小千谷市準用河川管理条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第74号 小千谷市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第75号 小千谷市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第76号 小千谷市駅前広場条例の一部を改正する条例の制定について

○議案第77号 小千谷市克雷管理センター条例の一部を改正する条例の制定について

以上の10議案は、消費税率の改正に伴い、手数料及び使用料等を改正するものです。

○議案第80号 令和元年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

本案は、保険給付費等の額の確定に伴い、歳出において国県支出金等過年度分返還金及び保険税還付金の増額。歳入において平成30年度決算に伴う繰越金の計上、及び予定していた基金繰入を行わないとするものです。

○議案第81号 令和元年度小千

谷市介護保険特別会計補正予算（第2号）について

本案は、介護給付費等の額の確定に伴い、歳出において国県支出金等過年度分返還金及び給付準備基金積立金の増額。歳入において平成30年度決算に伴う繰越金の計上、及び予定していた基金繰入を行わないとするものです。

○議案第84号 平成30年度小千谷市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は32億4768万6271円、歳出決算額は31億8783万6629円で差引額5984万9642円を翌年度に繰り越すものです。

○議案第85号 平成30年度小千谷市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は39億1331万2996円、歳出決算額は37億6210万7618円で差引額1億5120万5378円を翌年度に繰り越すものです。

○議案第86号 平成30年度小千谷市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は7億3874万9147円、歳出決算額は7億3771万9617円で差引額

102万9530円を翌年度に繰り越すものです。

○議案第87号 平成30年度小千谷市工業団地事業特別会計歳入歳出決算認定について

歳入決算額は4億7951万5759円、歳出決算額は4億7951万5759円で実質収支額は0円とするものです。

○議案第93号 小千谷市道路線の認定について

本案は、鴻巣産業団地線を市道に認定するものです。

## 本会議をインターネット中継しています

市議会本会議は市ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、概ね1週間後には、録画映像も配信しています。また、会議録も市ホームページで閲覧できます。一般質問等の詳細は「会議録の閲覧と検索」をご利用ください。（令和元年第3回定例会の会議録掲載は、11月末頃となります。）スマートフォンやタブレットでもご覧いただけます。

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/>

## 市政の内容を聞く

# 一般質問

### 働くことを軸とする 安心社会への支援を

長谷川有理 議員

#### 働くことを軸とする社会支援

**質問** 骨髄バンクドナー登録には年齢制限があり働く世代が多い。休暇取得しやすい社会環境整備が必要。県内14市町で導入実績があるドナーと勤務する事業所に助成する骨髄バンクドナー助成制度の創設を当市で図るべき。

**答弁** 創設にむけ検討を進める。

**質問** 工業団地企業誘致も進むが労働人口の減少・人手不足の中、若者層への住宅施策は大切。若者マイホーム取得補助金、住宅取得補助金等があるが『小千谷市定住促進事業・U・J・Iター

ン就業者家賃補助』を復活し定住化支援を図るべき。

**答弁** 国の交付金がない現状では制度の復活は考えていない。

#### 安心した出産・子育てへの支援

**質問** 妊産婦医療費助成は多くの市町村で所得制限がない。昨年度実績は人数1人・件数も1件。制度の周知を行い、他市町村並みの所得制限撤廃と自己負担なしの全額助成をすべき。年間出生数約200人の当市で所得制限を設けるのはいかがか。

**答弁** 所得の再配分の役割として所得制限の撤廃は考えていない。

**質問** 第3子出産祝金の支給や一時保育サービス利用券の交付、親子体験活動にバス借上げを助成する等、孤立・疲弊しない、リフレッシュできる仲間づくり



が出来るような子育て支援を。

**答弁** 分析中の子育て支援ニーズ調査をもとに検討していく。

#### 当市の高齢者福祉施策について

**質問** 地域包括支援センターが1か所の市は当市と村上、加茂妙高市。1か所で委託先が独占の自治体は当市と出雲崎町のみ。相談件数も激増。是正を。

**答弁** 人員を1名増やした。複数化、サテライト化は考えていない。

### 骨髄バンクドナー 助成・当市の防災

住安 康一 議員

**質問** 骨髄バンク事業について普及啓発に努めるべき。また、

ドナー休暇制度を普及啓発するなど、企業等の取り組みを促進するための方策を講ずるべき。

**答弁** 市ホームページにおいて日本骨髄バンクホームページへ移行できるようにする。また、ドナーの勤務する事業所への理解と普及啓発活動を進めていくため、小千谷商工会議所を通して、周知、啓発活動を進める。

**質問** ドナーが、骨髄等の提供に伴う入院、通院、打合せ等の

ために休業する場合の補償制度として、骨髄バンクドナー助成制度を創設するべきと提案する。

**答弁** ドナー対象者への支援制度について取り組みを進める。

**質問** アピアランスケアに対する助成事業の立ち上げを提案。

**答弁** 健康保険の対象となるよう、国に要望したい。

**質問** 障がい者のための防災ハンドブックを作成すべき。

**答弁** 障がいの種別に応じた防災に関する必要な情報を掲載したお知らせを作成する。

**質問** 水の確保が重要。井戸登録のほかに清水登録が必要。

**答弁** 所有者や関係者の了解が得られた際には防災時登録井戸のマップに表示したい。

**質問** 小千谷市版の「子ども防災手帳」の作成を提案する。

**教育長答弁** 新たに原子力災害を加えた、改訂版の防災パンフレットの作成を念頭において、



今後、防災教育のさらなる充実を検討したい。

**質問** ドローンの活用について。

**答弁** ドローンの寄贈を受けているので、消防職員が操縦の講習を受講するなどの準備を進めている。

### 旧小千谷総合病院 跡地利用について

佐藤 隆一 議員

**質問** 跡地利用に先立って行われた視察の評価は事業にどう反映されていますか。

**答弁** 視察では施設の建設、事業の経緯、実際の運用について調査し、民間の経営力を活かした民間主導・官民連携によるまちづくりの必要性について反映。岩手県紫波町の視察には私も参加しました。

**質問** 国の社会资本整備総合交付金を活用する前提条件について伺います。

**答弁** 交付金活用には都市再生整備計画策定や中心市街地の活性化、路線バスの本数（1時間に3本以上）などがあり、併設する図書館・資料館は法律の要件を満たすことが求められます。

**質問** 計画の中心である図書館と学校図書館の接続が計画にあります。図書館はどのようなものになるのでしょうか。

**教育長答弁** インターネットで

図書館の蔵書検索は行えるため、接続は計画していません。子どもたちが図書館で蔵書に直接触れる機会も大切と考えています。  
**質問** 周辺と調和した景観や自然エネルギー100%の施設とするなど工夫も必要ではないでしょうか。

**答弁** 施設周辺の歩道や街灯、案内板等について調和のとれた整備を行う予定です。

**質問** 旭橋付近の2棟の家屋はオープンまでに撤去されますか。

**答弁** 一棟は所有者が亡くなっていますが、適切な対応を促してまいります。



旭橋西詰周辺

## タブレットによる ペーパーレス化

佐藤 栄作 議員

**質問** ペーパーレス化の所見について。

**答弁** タブレット使用に関わらず、自治体業務においてもペーパーレス化は将来的に取り組まなければならないと認識している。タブレットの導入もペーパーレス化の一部を担う手段であり、ペーパーレス化を進めるために、自治体業務全体のデジタル化について手法・手順を考えていく必要がある。これにより、紙が減少していくことになるかと理解している。

**質問** ペーパーレス化を進めるうえでの問題点について。

**答弁** 新たな機器やシステムの導入において、初期投資とともに維持費が高いという課題が大きな障害となっている。

**質問** ペーパーレス化について部分的な施行など検討されたことがあるか。

**答弁** 自治体業務のデジタル化については、過去にも小千谷市行政改革実施計画において、電子決裁及び文書管理システムの導入について検討した。結果と

して費用対効果の面で実現できなかった。

**質問** 将来的にはペーパーレス化の導入を考えているのか。

**答弁** 自治体業務のデジタル化は進んでいくものと考え、課題などの克服も併せて、研究を進めていく。部分的な施行については、全体の方向付けが先と考え現段階では考えていない。

**質問** 公共工事での電子データと紙媒体の今後について。

**答弁** 大量の資料の場合、便宜的にCDでの電子データを提供することがあるが、現状においては、文章の保管の基本は決裁文書を紙媒体で行い、予備的に電子データを添付している。

## 企業誘致の波及効果、 クールジャパン会議

大矢 弘光 議員

**質問** 企業誘致と波及効果の考え方や方向性について。

**答弁** 新たな労働力の流入や、交流人口増加や定住促進につながるかと考える。企業誘致をまちづくりの手段の一つとしながら、商業や居住環境の整備など調和のとれた施策・事業に取り組む。

**質問** 学生へのアプローチにおいて課題となっている点は。

**答弁** 就職活動の早期化と、情報提供に向けた個人情報収集が課題である。本年8月に発足した「おぢや・夢・ミライ応援団」組織を活用し、重ねて保護者からの理解も深めていく。

**質問** 鴻巣産業団地周辺道路・県道山谷片貝線の整備について。

**答弁** 片貝方面の狭隘区間及び、山谷方面の未改良部を合わせた区間の早期事業化を引き続き新潟県に要望する。

**質問** 住宅の整備について。

**答弁** 鴻巣産業団地から長岡方面へのバイパス県道長岡片貝小千谷線などは「都市計画道路整備に伴う移転用地等として市街地の拡大が必要な地区」としており、住宅の整備について民間開発も含め検討していく。

**質問** クールジャパン推進会議後、錦鯉を通したPRの動きは。

**答弁** 現在、日本政府が正式参加している北京国際園芸博覧会にて錦鯉を出展。職員を派遣し錦鯉の発祥地であると情報発信する。東京オリンピック・パラリンピックでは市独自の展示のほか、新潟県とも連携した情報発信を推進していく。

**質問** 観光大使について。

**答弁** 複数名の候補者に対し、条件などを踏まえ取り組みを進めている。年内には一定の報告を目指す。

## 市民協働の市政運営 ・中山間地支援

駒井 和彦 議員

**質問** 条例を作ることで、機運醸成が図れるのではないか。

**答弁** 市民に理解してもらおうための指針作りに取り組む。

**質問** 3地区住民アンケートの評価と今後の取り組みは。

**答弁** 地域住民に、地域がこの先どうあるべきか議論してもらい、課題解決の具体策を期待する。

**質問** オゾトックやオモシロ×マジメに創る会の成果の今後の展開は。

**教育長答弁** 今後も関係団体と連携し、学習機会提供等支援していく。

**質問** 若者条例や若者議会条例の制定について。

**答弁** 現在考えていないが、会議の場づくりは努めていく。  
**質問** 各審議会等委員への女性の登用率とその評価について。

**答弁** 20・8%、今後も積極的登用を働きかけていく。

**質問** 市民提案箱の評価と今後について。

**答弁** 268件のうち40件の事業化、今後も継続していく。

**質問** 棚田地域振興法制定後の当市の取り組みについて。

**答弁** 具体的な内容が示されていないが、情報を注視し、遅滞なく対応していく。

**質問** 学校現場での棚田教育について。

**教育長答弁** 棚田に特化した教育は行っていないが、小5の教科書では農家の米作りの記載がある。

**質問** 山間地集落の存亡について、市長の率直な考えは。

**答弁** 地域住民等の自主的努力を支援することで振興、維持に



努めていく。

**質問** 地域インフラサポーターの設置について。

**答弁** 先行自治体での有効性を確認しているが、現状設置の予定はない。

### 子ども医療費、保育無償化と西部線整備

内山 博志 議員

**質問** 県の財政が危機的と報じられている。財政再建として県

単独事業が検討の俎上に上がっている。小千谷市の高校卒業までの医療費助成制度を堅持し、補助金の削減はしないよう県に要請すべきだ。

**答弁** 高校卒業までの子ども医療費助成制度は廃止しない。県単独補助金の削減の検討に当たっては市町村の意見も反映すべき。市長会などの機会を利用し伝えていく。

**質問** 10月からの幼児教育・保育の無償化はカッコ付きで副食費は実費徴収になる。副食材費の無償化で子育て支援すべきではないか。全国では、100を超える自治体で実現する。

**答弁** 保育料の無償化で大幅に

負担軽減になると考える。市は国基準の徴収額より軽減している。現段階では、3才未満児の保育料を軽減する考えはない。

**質問** 市役所の障害者雇用率はいかがか。障がい者の仕事とのマッチングはどのように行っているか。

**答弁** 法定雇用率に達していないことから、来年度の採用に向けて、障がい者枠として採用試験を実施している。職員係などで相談体制は整えてあり、引き続き配慮していく。

**質問** 鴻巣産業団地の売却に伴い、交通量は一層の増加が予想される。地域や市民から要望が出ている市道山谷・吉谷線（西部線）の道路拡幅の計画を急ぐべきだ。

**答弁** 令和元年に全体測量、令和2年に用地測量、令和3年から5年に拡幅工事を計画している。

### 消防、教育、視覚障がい支援について

森本恵理子 議員

**消防・防災について**

**質問** 点検の際に町内管理の消防用ホースの乾燥が難しく、ま

た赤水が出るため点検が進まない。点検支援策を講じては。

**答弁** 地元消防団に依頼いただくことで乾燥作業等に対応する。

**質問** 消火活動などで消火栓を利用した際に家庭の水道から赤水が出ることもある。周知と水道料減免の必要性について伺う。

**答弁** 赤水が出た際は透明になるまで蛇口から水を流し続けているだけで必要があるが水道料金に大きな影響を及ぼすほどではない。今後赤水が出ることの周知を消防活動後に行っていく。

**魅力ある教育施策について**

**質問** 学校におけるパソコンやタブレット端末の設置予定は。

**教育長答弁** 多額の費用がかかり、国の補助制度もないため、国の財源措置や機器の開発の度合いを見極めながら検討していきたい。

**質問** オールイングリッシュキャンプの必要性について伺う。

**教育長答弁** 来年2月に小中学生を対象におちゃらで実施予定。

**視覚障がいに対する理解促進**

**質問** 社会が色々な障がいを背負っている方々に対して寄り添う必要があると考える。視覚障がい者誘導用ブロックについて

整備状況、対応を伺う。

**答弁** 公共施設における設置は着実に進んでいるが、今後、民間事業者に対して制度の理解や周知に努めていく。

**質問** 視覚障がいの方が持つ白杖、困っている際にSOSを伝える「白杖SOSシグナル」について認知度を高めるべきではないか。

**答弁** 市民の理解を深めるためヘルプカードと併せて広報などで掲載し、周知に努める。



白杖

### 船岡山整備・保育料・工業団地造成・リフォーム補助金

本田 剛 議員

**質問** 船岡山の整備と管理、稲荷町側の階段踏面の安全対策について。

**答弁** 階段が滑りやすいため、応急的な安全対策を進めており、手摺りの設置も検討している。管理は月1回程度職員が巡視等を行い観光施設全般の管理業務はシルバー人材センター等に委託



している。週1回程度の清掃やパトロール巡視等の状況報告を受け、施設修繕等の環境整備に努めている。

**質問** 多子世帯の保育料の軽減制度において第1子としてカウント条件が厳しい。年齢が離れた兄弟でもカウントする制度の改正を。

**答弁** 保育料の多子軽減は、国と同じ基準を用いている。10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、全所得階層世帯の保育料負担軽減を実施。現時点では多子軽減の算定改正は考えていない。

**質問** 人口減少対策の一環として、今後も工業団地を造成し企業誘致を進めるべきと思う。

**答弁** 工業団地の造成は対応の時間と経費を要するものだが将来を担う主要な事業の一つでもある。今後、地元企業のニーズも伺いながら適地、規模、時期など総合的な検討を進めていきたい。

**質問** 住宅リフォーム補助金制度は今後あるのか。

**答弁** 今年度は消費税改定前のかけ込み需要が見込まれることから実施しなかった。今後は経済対策の一環として経済状況を

ふまえ実施するが、来年度も含め継続的な事業とすることは考えていない。



### 地域おこし協力隊支援について

平澤 智 議員

**質問** 全国的には問題が発生し、任期を全うすることなく脱隊したり病気になるったりしてしまうケースが数多く報告されている。幸い当市では定住率も高くマッチングがうまくいっているように思えるが、担当課と受入団体と隊員との情報交換状況はどのようなのか、頻度で実施されているのか。

**答弁** 協力隊専門の担当職員を

配置し、週1回の訪問と毎月1回の報告会を開催している。

**質問** 隊員、受入団体からの問題提起は実際担当課としては伝わってきている実態があるのか。

**答弁** 当市では独自の支援策として受入団体の方に世話人をお願いし、生活や活動を支援いただき、情報を得ている。

**質問** 定住に向けての検討、任期終了後の仕事内容についての具体的な話し合いは実際どれくらい実施されているのか。

**答弁** 隊員の多くは任期開始から1年が経過する頃から終了後のビジョンを考え始める傾向にあるため、その頃から具体的な話し合いを始めている。多いときは週に何度も話し合いの場を持ちながら支援をしている。



**質問** 定住に向けての検討は担当課、受入団体、隊員だけでなく広く市内の民間企業、個人も含めて一緒に考えられる組織があっても良いのではないかと思

**答弁** 小千谷市で就業し定住いただけますが、何より本人の決断を優先している。その決断にあたり、世話人や受入団体が主体となり、市としてはサポートしていきたいと考えている。

### 障がい者就労支援施設と日中一時支援

吉崎 進 議員

れ、平日は何とかなっているが、長期休暇では希望者が大幅に増える。これに対しての市の対応を伺う。

**答弁** 障がい者就労支援施設は、いずれの施設も登録者が定員を上回っている状況である。日中一時支援に対しては長期休業中に利用希望者が集中することから、サービス提供事業者と協力して受入れ調整を行い、希望者全員から利用してもらっている。平成30年4月から、介護保険法と障害者総合支援法の改正により、一体的にサービスを提供できる「共生型サービス」の制度が開始された。

**質問** 市内には障がい者就労支援施設が4施設あり、定員は88名である。現在の利用者は定員以上となっており、どの施設でも慢性的に定員をオーバーしている。また、市の総合支援学校を卒業して、就労支援施設に通わざるを得ない方もこれから増えてくる。市内の就労支援施設が足りない状況にどのように対応するのか伺う。児童、生徒の日中一時支援は、デイサービス主体の施設でも受け入れが行わ

このような状況を踏まえて、市としては「第5期障がい福祉計画」に引き続き関係事業者と連携しながら取り組むとともに、社会福祉法人等の施設整備においては、国や県の補助制度の活用に向けた支援、さらに、やむを得ず市外の通所サービス事業所に通所する障がい者に対しては、交通費助成制度について取り組みを進めていく考えである。



22日 県市議会議長会秋季定期  
総会（燕市）

26日 議会運営委員会

〔7月〕

2日 柏崎港整備・利用促進協  
議会通常総会（柏崎市）

8日 広聴広報委員会

16日 広聴広報委員会

23日 愛知県西尾市議会行政視  
察に来市

〃 愛知県豊橋市議会行政視  
察に来市（24日まで）

〔8月〕

5日 民生産業委員協議会

6日 中越地区市議会合同議員  
研修会（燕市）

19日 議員協議会

22日 県市議会議長会秋季定期  
総会（燕市）

26日 議会運営委員会

〔8月〕

2日 第3回定例会（本会議）

〃 広聴広報委員会

3日 常任委員会連合審査会

4日 常任委員会連合審査会

5日 総務文教委員会

6日 民生産業委員会

19日 議会運営委員会

〃 本会議（第2日）

〃 議会改革推進委員会

20日 本会議（第3日）

〃 広聴広報委員会

25日 議会運営委員会

〃 本会議（第4日）

## 市議会を傍聴してみませんか

### 第4回定例会開催予定

- 11月29日(金) 第1日 議案上程説明  
12月2日(月)～4日(水) 各常任委員会で審査  
12月17日(火) 第2日 一般質問  
12月18日(水) 予備日 一般質問  
(質問者が多い場合に開催)  
12月20日(金) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局（Tel.83-3505）へお問い合わせください。委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。



黒崎 哲郎（片貝町裏）

ご依頼を戴き、悩苦の中で書き始めます。

片貝で設備工事を営み23年になります。

私のモットーは電話や来社される方々は困っている、心配がある等の気持ちでいられると思いい、先ず、伺って修繕等の状況判断を行い、対応策を話し合う中で、ライフラインの安全、回復を念頭に対応することです。

事業を始めたばかりの頃、「おめさん、どこの、だっだ？」でした。地域に認知してもらおう為に、様々な会に参加して、率先して作業や行動をしました。商工の役、町の役、趣味では郷土史研究会、観世流の謡会、舞踊の会、ボランティアで花壇の花

の会、保護司会等々、忙中忙ですが、今では、昔にかじったギターの練習を我流で少し始めました。

「生きる」に於いて、切り替え、切り替えるの心が一番大事と  
思ってチャレンジしています。

もうすぐに65歳になりますが、これまでの23年間でアツと云うほど短く感じましたので、妻に笑われていますが百歳までは生きたいと言っています。

不摂生な飲食、運動不足（嫌い？）ですが、その内、その内にと念じて、毎日苦しみ、喜び、悲しみ、失望、持ち直し、そして希望の中で人生を泳いでいます。

最後に皆様、お元気にお過ごし下さいませ。



## 編集後記

今回の市議会は、消費税10%直前の議会となりました。

これまでになく懸念材料の多い中での増税です。

市民の暮らしに関わる条例改正などが多数あり、議員の中でも意見が分れました。いずれにしても市の行政は国の施策と切っても切れない関係性を持っています。

小千谷市議会としても、しっかり議論し、市民の暮らしを守り、安心していつまでも暮らせる小千谷市を皆様と力を合わせ、目指してまいります。

皆様の様々なご意見、ご要望に耳を傾け、進んでいきたいと思っています。

編集委員 内山 博志

